

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 SREホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2980 URL <https://sre-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 和良  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務・コーポレートソリューション担当 (氏名) 久々湊 暁夫 TEL 03(6274)6550  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,217	—	439	—	416	—	266	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 266百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	19.33	18.47
2019年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2019年3月期第3四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2019年7月31日開催の取締役会決議により、2019年8月20日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、期首に行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算出しております。

3. 当社株式は、2019年12月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2020年3月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新規上場日から第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,522	6,881	6,881	3,177	72.2
2019年3月期	4,115	3,179	3,179	—	77.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,876百万円 2019年3月期 3,177百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,103	41.7	693	62.6	659	51.5	426	64.2	30.16

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
連結業績予想の修正については、本日（2020年2月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 2019年7月31日開催の取締役会決議により、2019年8月20日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に行われたと仮定し、公募株式数（1,400,000株）及び2019年12月23日付で第2回新株予約権が行使されたことにより増加した株式数（1,500株）を考慮した期中平均発行済株式数により「1株当たり当期純利益」を算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	15,129,500株	2019年3月期	13,728,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	－株	2019年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	13,799,322株	2019年3月期3Q	－株

- (注) 1. 2019年3月期第3四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」については記載しておりません。
2. 2018年6月18日開催の取締役会決議により、2018年7月5日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行い、さらに2019年7月31日開催の取締役会決議により、2019年8月20日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますので、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」及び「期中平均株式数（四半期累計）」については、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内においては、自然災害の発生や消費税率引上げに伴う消費マインドの低下等のマイナス要因があり、また、国外においては、米中貿易摩擦の長期化、イギリスのEU離脱に伴うヨーロッパ経済の先行き不透明化や中東情勢の不安定化等の不確定要因があったものの、全体としては緩やかな回復基調となりました。

当社の事業との関係で見ますと、当社グループが「不動産事業」を展開する不動産業界においては、一部金融機関や不動産会社による不適切な不動産取引や、大手デベロッパーによる投資用アパートの施工不良等の問題により、個人向け投資事業については弱含んでいるものの、外国人投資家や法人投資家向けの都心マンション販売は、低金利等を背景に依然堅調であり、全体としてみると、景気はほぼ横ばいとなっております。また、当社グループが「ITプラットフォーム事業」及び「AIソリューション事業」を展開するIT及びAI業界は、高度技術者の不足等の課題はあるものの、AIについての認知度が上がっていることを背景に、業種を問わずITやAI技術を導入又は導入を検討する企業が増加しており、市場は順調に拡大しております。

このような事業環境のもと、当社の「不動産事業」は、不動産仲介サービスとして、AI技術の活用により、顧客満足度の高いコンサルティングサービスを継続的に提供するとともに、スマートホームサービスとして、法人投資家向け収益型不動産「AIFLAT（アイフラット）」の建設を進めてまいりました。

また、「ITプラットフォーム事業」は、不動産売買プラットフォーム「おうちダイレクト」の個人向けサービスの対応エリアを拡大するとともに、法人向けサービスの利用者数を順調に増やしてまいりました。

加えて、「AIソリューション事業」は、AIクラウドサービス（ディープラーニング（深層学習）技術を核とするパッケージ化されたAIツールをクラウドを通じて提供するサービス）及びAIコンサルティングサービス（不動産仲介業者及び金融機関が行うマーケティング活動、営業活動といった顧客企業の様々な顕在的、潜在的な経営課題を、「AI生成ツール」を用いて解決するコンサルティングサービス）の提供先を広く開拓してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は堅調に推移し、売上高2,217,839千円、営業利益439,059千円（売上高販管費率58.4%）、経常利益416,890千円、親会社株主に帰属する四半期純利益266,773千円となりました。

なお、当社グループは、「不動産事業」、「ITプラットフォーム事業」及び「AIソリューション事業」を有機的に結合させたサービスを展開しているため、『AI×リアル』ソリューション事業の単一セグメントとしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,407,113千円増加し、9,522,918千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より5,258,273千円増加し、8,527,409千円となりました。これは主に、現金及び預金が4,175,985千円、営業出資金が770,777千円、たな卸資産が2,382,571千円増加した一方、預け金が2,134,584千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より148,840千円増加し、995,509千円となりました。これは主に、有形固定資産が91,128千円、投資その他の資産が32,984千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,704,927千円増加し、2,641,245千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より1,687,816千円増加し、2,500,248千円となりました。これは主に、短期借入金金が1,900,000千円、未払法人税等が88,090千円増加した一方、買掛金が197,452千円、賞与引当金が47,265千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より17,111千円増加し、140,997千円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末より3,702,186千円増加し、6,881,673千円となりました。これは主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う公募増資等による資本金が1,716,100千円、資本剰余金が1,716,100千円増加したことによるものであります。また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が266,773千円増加しております。

なお、自己資本比率は72.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2019年12月19日に公表いたしました2020年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年2月14日）付で別途開示しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	348,904	4,524,890
預け金	2,134,584	—
売掛金	56,568	94,692
営業出資金	—	770,777
たな卸資産	600,024	2,982,595
その他	129,053	154,452
流動資産合計	3,269,135	8,527,409
固定資産		
有形固定資産	74,988	166,117
無形固定資産		
ソフトウェア	353,714	381,123
その他	88,518	85,835
無形固定資産合計	442,232	466,959
投資その他の資産	329,448	362,432
固定資産合計	846,669	995,509
資産合計	4,115,804	9,522,918
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,220	768
未払金	79,687	52,923
未払費用	178,161	166,619
短期借入金	—	1,900,000
未払法人税等	36,249	124,339
賞与引当金	88,088	40,823
その他	232,024	214,772
流動負債合計	812,431	2,500,248
固定負債		
その他	123,886	140,997
固定負債合計	123,886	140,997
負債合計	936,318	2,641,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,822,450	3,538,550
資本剰余金	1,822,450	3,538,550
利益剰余金	△467,586	△200,812
株主資本合計	3,177,313	6,876,287
新株予約権	2,173	5,386
純資産合計	3,179,486	6,881,673
負債純資産合計	4,115,804	9,522,918

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,217,839
売上原価	483,190
売上総利益	1,734,648
販売費及び一般管理費	1,295,588
営業利益	439,059
営業外収益	
受取利息	289
持分法による投資利益	10,646
その他	46
営業外収益合計	10,981
営業外費用	
支払利息	1,996
株式公開費用	31,145
その他	10
営業外費用合計	33,151
経常利益	416,890
特別損失	
固定資産除却損	11,419
特別損失合計	11,419
税金等調整前四半期純利益	405,470
法人税、住民税及び事業税	124,417
法人税等調整額	14,278
法人税等合計	138,696
四半期純利益	266,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	266,773

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	266,773
四半期包括利益	266,773
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	266,773
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2019年12月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式1,400,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,715,875千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ225千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,538,550千円となっております。